

平成30年9月定例会一般質問表

9/5、6、7

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>1. 学校の働き方改革について 文部科学省は、昨年12月26日に「学校における働き方改革に関する緊急対策」を取りまとめ、2月9日県教育委員会等に通知しました。 内容は 1. 学校における業務改善について 2. 勤務時間管理の徹底及び適正な勤務時間の設定について 3. 教職員全体の働き方に関する意識改革について となっています。地域・市民が関係する項目もたくさんあります。教育委員会の対応で、これまでと今後の基本的な考えの相違について何点か伺います。</p> <p>(1) 専門スタッフとの役割分担の明確化及び支援 「チームとしての学校」として、事務職員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活指導員等との役割分担を行うことについて。</p> <p>(2) 学校・家庭・地域の連携の促進 法制化された地域学校協働活動推進員の委嘱等により、地域学校協働活動を推進すること。また、地域や保護者に教育委員会の考えを直接示す機会を設けるなど、学校の取り組みが理解されるように、学校・家庭・地域の連携を積極的に行うことについて。</p> <p>(3) 学校徴収金の徴収・管理 学校徴収金は、銀行振込・口座引落による徴収を基本とし、その徴収・管理を学校ではなく、教育委員会事務局が担っていくことについて。</p>	市長 教育長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>2. 中学校における運動部活動について スポーツ庁では、今年3月、生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築するという観点に立ち、地域や学校の実態に応じて、運動部活動が多様な形で最適に実施されるようガイドラインを策定しました。</p> <p>骨子の概要は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休養日は週2日以上で、平日は1日以上、土日で1日以上 ・ 夏休みなど長期休業中は部活動も長期の休養日を設ける ・ 1日の活動時間は平日2時間、休日3時間程度 ・ 科学的トレーニングを導入し、短期間で効果が得られる活動にする ・ スポーツクラブなどと連携し、地域のスポーツ環境整備を進める ・ 大会の統廃合を進め、学校が参加する大会数の上限を定める ・ 過度な練習を避けたい生徒も参加しやすい運動部の設置 ・ 複数校合同の部活、地域指導者との連携など、新しい部活の指導体制 <p>などとなっていますが、従来の私達の部活動の考えとは異なる部分が多々あります。教育委員会としての考えをお伺いします。</p> <p>(1) 運動部活動の課題、今回のガイドラインの策定の趣旨は。</p> <p>(2) 平日の活動時間を2時間程度、休養日を週2日以上設けること等が示されているのはなぜか。</p> <p>(3) こうした休養日等の基準を設けることによって、競技力の低下や、活動したい生徒の希望を抑えることにつながるか。</p> <p>(4) 学校以外の活動はガイドラインが定める活動時間の枠外か。</p> <p>(5) ガイドラインの取り組みを進めていく上で、保護者の理解・協力が必要なものとして主にどのようなことがあるか。</p> <p>(6) 文化部活動についてもガイドラインの策定等の予定はあるのか。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	1 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>1. 記録的高温に対する対応について</p> <p>今年の夏は、7月より猛暑日が続き全国的に異常な高温となり熱中症など異常高温に起因するとみられる犠牲者が続出しています。</p> <p>小中学校での熱中症被害も数多く発生しているため、国もこの度小中学校へのクーラー設置を後押しする予算処置に向け検討を明言し、市長は、それに先んじて市内小中学校にクーラーの早期設置ができるように、早々と市内教育設備へのクーラー設置のための設計に対する予算措置を行いました。</p> <p>これに関しては、未来ある子供たちの健康を守るため、かつ夏場の学習環境を整えることによる学力向上に資する施策であると考えられ、ぜひ推進していただきたいと思っております。</p> <p>しかし、実際に本市で熱中症のために救急搬送された患者を年代別にみると、今年7月迄のデータでは84.6%（13人中11人）で60歳以上が殆どとなっており、また県内全体で見ても殆ど同じ傾向で、例えば直近5年間で熱中症搬送者が最も多かった平成25年度では855人中496人が65歳以上で全体の58%を占めているのが現状です。</p> <p>以上の事を踏まえ以下の質問を行います。</p> <p>(1) 高齢者宅におけるクーラーの設置状況</p> <p>本年の熱中症搬送者の状況を聞き及んだところによると、同じ方が複数回救急搬送されている事例があり、実際に民生委員が確認したところ扇風機しかない家庭だったとの事でした。</p> <p>今年のような猛暑で熱帯夜が続く状況では、扇風機だけでは危険な家屋も多く存在すると思いますが、市内の高齢者世帯でのクーラーの設置状況について調査を行った経緯はあるかお伺いします。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	1 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>(2) 熱中症予防としての地域公民館活用 すべての高齢者宅に、市の補助でクーラー設置を行うことは予算を考えた場合非常に困難であると思われるが、今後このような異常高温が毎年起きる可能性を考えた時、高齢者の命を守るために何らかの対策が必要ではないかと考えます。</p> <p>例えば、高齢者宅近くにある地域の公民館を「熱中症シェルター」として活用できれば、費用対効果を充分得られるのではないかと考え以下の内容を質問いたします。</p> <p>① 現在各地域の公民館のクーラー設置状況はどうなっているか。</p> <p>② 例えば、記録的高温が続くと考えられる状況になった場合、地域の公民館を高齢者のための「熱中症シェルター」のような形で、開放することは出来ないか。</p> <p>③ 地域の公民館を開放した場合のクーラー使用による電気代の割り増し分を、市で補助することは出来ないか。</p> <p>④ 高齢者は自分の体温の変化を感じにくく、また、感じたとしても我慢してしまう傾向が多い。熱中症計などで客観的に危険を目視できれば自己防衛を行うことも可能となると思うが、これを積極的に高齢者に購入してもらうために補助を行う考えはないか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	1 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>2. 人口減少の対策について</p> <p>昨年6月に人口減少に関する一般質問を行ったが、その時31,945人だった本市の人口が、8月1日の時点で31,638人と307人の減少となっています。</p> <p>先日の新聞発表では、本市の人口減少率は13市でも少ない方ではあるようですが、このまま人口減少が続けば5年後の人口が30,000人の大台を割り込む可能性も現実的であると考えます。</p> <p>そこで、昨年6月の一般質問での内容も踏まえ市長の御考えをお聞きします。</p> <p>(1) 市外転出者へのアンケート調査実施状況とその結果</p> <p>① 昨年の一般質問で、例えば帰省者への臨時アンケート調査を提案したが、その実施状況と結果はどうだったのか。</p> <p>② その際、本市独自の切り口での内容をと要請したが、庁内でそれに関する話し合いなど具体的な取り組みは行われたか。</p> <p>(2) 昨年の一般質問でも、県内外の人口問題先進地の紹介を行ったが、実際に人口減少に歯止めがかかっている自治体、人口が増加している自治体は独自の視点で独自の施策を行っている場合が多い。</p> <p>本市でも今後人口問題を考えた時に、2番煎じではない独自の施策を行う必要があると考えるが、市長2期目の最初の議会でもあるので今後本市独自の目線で行う施策があれば、是非御考えを伺いたい。</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	5 番 山 口 正 雄 議 員	<p>1. 若者定住や移住・定住の促進及び雇用の場の確保について</p> <p>「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で31年度までに工業団地への企業誘致を2社とする目標を掲げ取り組んだ結果、昨年5月に目標を達成しました。</p> <p>しかし、その後の新しい企業誘致については、3カ年計画でも毎年取り組むことになっているものの、明確な目標が見えない状況にあります。目標を示すことで物事はより前進するのではないのでしょうか。</p> <p>Uターンや移住・定住を希望される方々にとって、必要かつ大事なことは「働く場があること」「安価な住む家があること」「安全・安心で居心地の良いまち」ではないのでしょうか。</p> <p>そういった環境を整えるためにも、確かな企業誘致活動に結びつけていくためにも、早急な工業団地整備とともに、安価な居住地が必要で、その一つが空き家バンク制度の有効活用だと思います。</p> <p>そこで、次の3点についてお伺い致します。</p> <p>(1) 企業誘致の新たな目標設定をどのように考えておられるのか。</p> <p>(2) 受け皿としての工業団地整備をどのように考えておられるのか。</p> <p>(3) 空き家バンクへの登録及び利用促進を図るための方策をどのように考えておられるのか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	13 番 田 中 貞 一 議 員	<p>1. 市政全般について</p> <p>(1) 選挙公約実現の具体的施策について</p> <p>① 第3子以降、生まれる前から義務教育期間までの診療費、保育料、給食費の無料化軽減を行い、3人っ子政策の継続拡充の具体的内容を示して頂きたい。</p> <p>② 旧市民会館跡地の利活用で、駐車場、公衆浴場の再編整備をする方向を言われたが、具体的な考えを示されたい。</p> <p>③ ビジネスホテル誘致の目処は付いているか。また、旅館組合の理解は得られるのか。</p> <p>④ 農村基盤整備の促進、担い手育成、地産地消、観光果樹振興とぶどう産業活性化、耕作放棄地対策推進の具体的な取り組みを示されたい。</p> <p>⑤ 都市計画マスタープラン見直しに着手し、住宅、商工業等の土地利用の振興を図ると言われたが、市長が考えている本市のランドデザインを示して頂きたい。</p> <p>⑥ 仙台南陽会設立の目標年次はどうか。</p> <p>⑦ 働く場の確保、企業誘致、市内企業の設備投資を奨励し若者のU I Jターンを促進と言われているが、本市に工業団地の空きもない中で、どのような方法で誘致を進展させるのか示して頂きたい。</p>	市 長

